

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会

第102回 9月22日(土) 13:30から くらしの植物苑 東屋

「江戸の野菜」 原田信男 (国士舘大学)

第103回 10月27日(土) 13:30から くらしの植物苑 東屋

「江戸・東京の野菜」 加藤陽子 (荒川ふるさと文化館)

くらしの植物苑今週の見どころ 毎木曜日更新 <http://www.rekihaku.ac.jp>

江戸を味かす「伝統の朝顔」展開催中 9月2日まで

第9回の伝統の朝顔展も9月2日(日)で終了します。出物系統の出物など一部の品種は会期終了後も、17日までご覧いただけます。



青握立田葉紅紫細切咲牡丹



青立田爪竜葉紅紫管弁獅子咲



青抱立田葉紅紫切咲



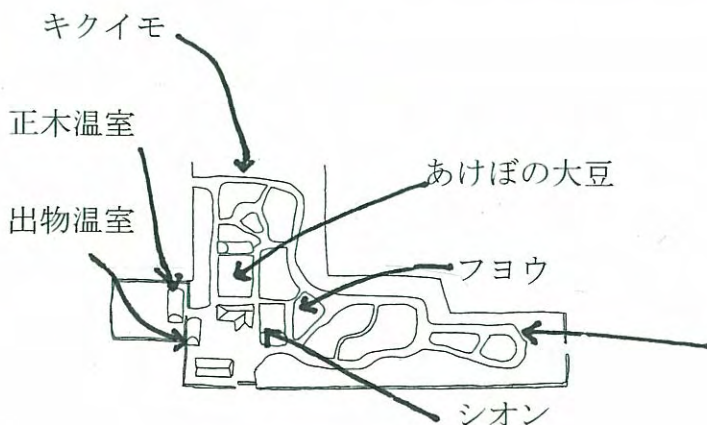
青打込堀渦柳葉青采咲牡丹



青打込堀渦蜻蛉笹葉青切咲牡丹



青打込堀渦柳葉青采咲



シオン (キク科シオン属)

古くから庭植えにして観賞されている多年草で、秋に藤紫色の頭花を散房花序につけます。ほかの株はまだ茎が上がっていないのですが、1株の花が咲き始めました。



ミズメ (カバノキ科カバノキ属)

樹皮を傷つけると樹液がでるので、その名があるといわれています。また枝を折るとサリチル酸メチルのにおいがする落葉の高木です。4月に雄花序、雌花序を紹介しましたが、果実が確認できました。



雌花序



雄花序



果実

あけぼの大豆 (マメ科ダイズ属)

山梨県で栽培されている白い大豆で、十粒ならべると六寸あることから十六寸(とうろくすん)とも呼ばれます。主に枝豆や味噌、豆腐に利用されます。極晩生で枝豆は10月上旬から収穫されます。



キクイモ (キク科ヒマワリ属)

北米原産の多年草、茎や葉には粗い毛が生えていてざらつきます。第2次世界大戦前に食料として、飼料として栽培されました。キクの花に根茎があることからキクイモとよばれます。繁殖力がさかんで野生化しているところも多いです。



フヨウ (アオイ科フヨウ属)

観賞用に栽培される低木で、苑では冬には地上部はほとんど枯れてしまいます。琉球地方では、茎の皮をはいで魚網、籠などをつくります。

